

# キー坊の環境講座

## 第5回 生ごみを減らすには？



12月1日号で、可燃ごみの中でも特に多く出されているごみのひとつが、生ごみだということを勉強しました。

皆さんは、生ごみをどのように処分していますか？多くの方がビニール袋などに入れて捨てているのではないのでしょうか？2月2日から、刈谷市でも一部店舗でレジ袋の無料配布が中止となるため、生ごみの処分方法に困っている人もいます。今回は、どのようにしたら生ごみを減らすことができるのか、キー坊に教えてもらいましょう。



### ● 生ごみの70%は〇〇だった?! ●

1年間に可燃ごみとして捨てられる生ごみは、刈谷市内で約17,922t（推定値）にのぼるんだ！しかし、生ごみの約70%が実は水分だって知ってる？水分を多く含む生ごみを燃やすと、水分が邪魔をしてごみを燃やす時の温度を下げて、焼却の効率が下がることがあるんだ。そのため、さらにたくさんのエネルギーを使うことになるんだよ。

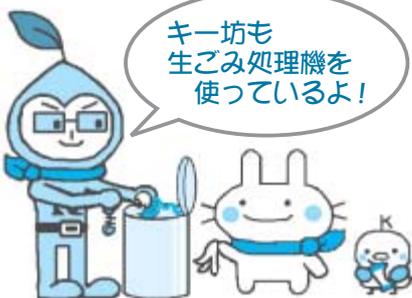
### \*\*\* 環境を考えた食事を \*\*\*

環境のことを考えて、「買い物」「料理」「片付け」を行いましょう。1日に数回、誰もがかわる「食」だからこそ、私たちにできることを考えて行動してみましょう！余計な食材を買わない、食べ残しをなくす、なるべく洗剤は使わない、油を流さないなど、「食」を通して環境にやさしい行動を行っていきましょう。また食材を無駄なく利用するレシピなどもインターネットなどで紹介されています。皆さん、ぜひ一度お試しください。



### \*\*\* 生ごみ処理機器購入費補助金制度 \*\*\*

刈谷市では、市内の販売指定店で生ごみ処理機やコンポストを購入していただいた場合、販売価格（税抜き価格）の2分の1（生ごみ処理機の場合、上限30,000円、コンポスト上限5,000円）を補助する制度があります。生ごみ処理機を使っていただくと、機種にもよりますが、生ごみを7割近く減量できます。水分を飛ばし堆肥化された生ごみは、ご家庭の花壇や畑などにご利用できます。また可燃ごみとして捨てる場合も重量が減り、簡単にごみの減量につながるのです。このような機器などの購入や使用が困難な場合でも、生ごみを捨てる際に、水分をよく切って捨てるだけで生ごみの減量になります。



生ごみの捨て方・再利用の方法を考えることは、ごみの減量だけではなく、環境にもやさしい行動なのです。一人ひとりの力は小さいかもしれませんが、皆さんのその行動が大きなごみの減量につながります！

4月1日号では、紙類のごみについて、キー坊と一緒に学んでいきましょう！

※詳細は環境課（☎62-1017）へ。